

平成 23 年度 第 1 回
公立大学法人宮崎公立大学経営審議会 議事録

- I 日 時：平成 23 年 4 月 1 日（火）13:05～13:30
- II 場 所：宮崎公立大学中会議室
- III 出席者：井上議長（理事長）、中別府委員（学長・副理事長）、小八重委員（事務局長）、
三宅委員、小池委員、藤元委員、中尾委員
- IV 資 料：公立大学法人宮崎公立大学業務方法書【資料 1】
公立大学法人宮崎公立大学定款【資料 2】
公立大学法人宮崎公立大学役員規程【資料 3】
公立大学法人宮崎公立大学役員会規程【資料 4】

V 内 容：

1 理事長あいさつ

井上理事長	はじめに、理事長より就任のあいさつを行った。
-------	------------------------

2 委員、事務局紹介

事務局	委員名簿により、各委員の紹介を行った。
-----	---------------------

3 審議事項

(1) 公立大学法人宮崎公立大学業務方法書の一部改正について

事務局	資料 1 を基に、今回の市立化に伴う公立大学法人宮崎公立大学業務方法書の一部改正について、改正概要の説明と提案があった。 改正理由 宮崎市が法人の設立者になったことに伴い、業務方法書に記載すべき事項を定める設立団体の規則が新たに制定されたため、その根拠となる規則名の改正を行うもの。
一同	特に質疑・意見もなく承認。

公立大学法人宮崎公立大学 平成 23 年度第 2 回経営審議会 議事要録

日 時	平成 23 年 6 月 7 日 (水) 10:00～11:40
場 所	宮崎公立大学 中会議室
出席者	出席者 井上議長 (理事長)、中別府委員 (学長・副理事長)、小八重委員 (事務局長)、小池委員、三宅委員、藤元委員、中尾委員
配付資料	<p>【資料 1】平成 22 年度 公立大学法人宮崎公立大学 業務実績報告書(案)</p> <p>【資料 2】平成 22 事業年度 公立大学法人宮崎公立大学 財務諸表</p> <p>【資料 2 - 2】平成 22 事業年度 公立大学法人宮崎公立大学 決算報告書</p> <p>【資料 2 - 3】賃借対照表等 (前年度比較)</p> <p>【資料 3】プロパー職員採用計画の見直し</p> <p>【資料 4】東日本大震災で被災した受験生等に対する支援について</p> <p>【資料 5】魅力ある大学づくり取組経緯</p> <p>【資料 6】宮崎公立大学 近況 (報告)</p>
議 事	<p>はじめに</p> <p>理事長より、大学の近況報告として、①平成 23 年度入学式挙行 (4 月 4 日)、②前期授業開始 (4 月 10 日から)、③スポーツデイ開催 (5 月 20 日)、④ (財) 宮崎学術振興財団助成金事業宮崎公立大学公開研究発表会開催 (5 月 28 日)、⑤蔚山大学校 (韓国の本学との学術交流協定校) 受入開始 (6 月 6 日から)、との報告がなされた。</p> <p>1 審議事項</p> <p>(1) 平成 22 年度業務実績報告書(案)について</p> <p>資料 1 により説明があり、審議の上、原案通り了承された。</p> <p>なお、委員より、積極的な広報を行ってほしいとの要望がなされた。</p> <p>また、「魅力ある大学づくり」の昨年度までの総括、今後の取組方針についての質問がなされた。</p> <p>(2) 平成 22 事業年度財務諸表及び決算報告書について</p> <p>資料 2、資料 2 - 2、資料 2 - 3 により説明があり、審議の上、原案通り了承された。</p> <p>(3) 事務局職員のプロパー化について</p> <p>資料 3 により説明があり、審議の上、原案通り了承された。</p>

なお、委員より、プロパー職員の登用・昇進を積極的に行ってほしいとの意見が出された。

- (4) 東日本大震災で被災した受験生等に対する支援について
資料4により説明があり、審議の上、原案通り了承された。

2 報告事項

- (1) 魅力ある大学づくりについて

資料5により、魅力ある大学づくりのこれまでの取組状況について、報告がなされた。

なお、委員より、「誰のための大学か」ということをしっかりと再確認し、地域の学生が入りやすく、良い就職に繋がる大学であってほしいとの意見が出された。

- (2) その他

学長から、参考資料により、(1)平成22年度就職活動支援状況、(2)本学入学志願者数減への対応状況、(3)安全で安心して学び合える大学への取組として、①ハラスメント再発防止への取組、②経済的支援状況、(4)科学研究費補助金等の状況、(5)図書館土曜日開館、(6)教員評価制度、(7)その他の状況として、①平成23年度入学者、②法人評価、③研究支援年、④カリキュラム改訂検討委員会、⑤「第1回 凌雲杯中国語コンテスト」、の説明があった。

公立大学法人宮崎公立大学 平成 23 年度第 3 回経営審議会 議事要録

日 時	平成 23 年 9 月 16 日 (金) 12:55～14:00
場 所	宮崎公立大学 中会議室
出席者	出席者 井上議長 (理事長)、中別府委員 (学長・副理事長)、小八重委員 (事務局長)、小池委員、藤元委員、中尾委員
配付資料	<p>【資料 1】 宮崎公立大学平成 24 年度の予算編成方針(案)</p> <p>【資料 2】 就職支援室の設置について</p> <p>【資料 3】 平成 22 年度の就職内定状況 (過年度との比較)</p> <p>【資料 4】 組織改編に伴う法人規程の一部改正について</p> <p>【資料 5】 一般選抜・前期日程試験【鹿児島会場】の設置について</p> <p>【資料 6】 平成 24 年度推薦入試における各高等学校への推薦枠</p> <p>【資料 7】 教員の採用について</p> <p>【資料 8】 宮崎公立大学の明日を考える懇話会について</p> <p>【資料 9】 公立大学法人宮崎公立大学平成 22 年度の業務実績に関する評価結果</p> <p>【資料 10】 宮崎公立大学 近況(報告)</p>
議 事	<p>はじめに</p> <p>理事長より、6 月の第 2 回経営審議会から本日までの大学行事についての説明がなされた。</p> <p>6～7 月 大学から提出した業務実績報告書に基づき、宮崎市公立大学法人評価委員会開催。評価結果を宮崎市長ならびに宮崎市議会に報告。</p> <p>6～8 月 蔚山大学校、蔚山科学大学 (韓国) ならびに蘇州大学 (中国) の短期留学生受入。</p> <p>7 月中旬 井上理事長、小八重事務局長、長友非常勤理事による在京経営者会議出席と企業訪問。</p> <p>8 月 7 日 キャンパスガイド開催。(372 名参加)</p> <p>9 月 15 日、16 日 電気設備学会開催。(延 1,000 名参加)</p> <p>1 審議事項</p> <p>(1) 平成 24 年度の予算編成方針(案)について</p> <p>資料 1 を基に、平成 24 年度公立大学法人宮崎公立大学予算編成方針 (案) の説明がなされた。</p>

平成 24 年度は、中期目標・中期計画の最終年度にあたり、中期目標の達成のため、以下の基本方針に基づき予算を編成して事業展開を図り、教職員が一丸となって次期中期計画・中期目標期間に向けて更なる飛躍を目指す年とすることが報告された。

基本方針 1 広報活動の充実と地域に愛される大学づくり

基本方針 2 就職支援体制の強化と安心して学べる学習環境の整備

基本方針 3 自己収入の確保と経費削減による経営基盤の強化

(2) 就職支援体制の強化について

資料 2、3、4 を基に、昨今の厳しい就職状況（本学においては、平成 22 年度は開学以来過去最低の就職内定率（90.1%）、平成 23 年度の大学に対する求人件数は半減）に鑑み、これまで学務課学生係の中に設置されていた「就職活動支援室」を、平成 23 年 10 月より課レベルの組織に引き上げ、「就職支援室」として、就職支援係とキャリア支援係を新たに設置し、それらの所属長として就職支援室長を置く案についての説明がなされた。

2 報告事項

(1) 一般選抜試験の鹿児島会場の新設について

資料 5 を基に、入学志願者数低迷の対策の一つとして、過年度の志願者数増減の推移を示した上で、一般選抜前期試験における鹿児島会場の新設についての報告がなされた。

(2) 推薦枠の見直しについて

資料 6 に基づき、過去 7 年間の推薦枠利用のデータと前回（平成 21 年度）見直しを行っていない高校を抽出して行った、推薦入試における推薦枠の見直しについての報告がなされた。

(3) 教員の採用について

資料 7 に基づき、平成 22 年度末の退職教員ならびに平成 23 年度末に退職予定の教員の代わりに、平成 24 年度から教員を 2 名、公募により採用する旨が報告された。

(4) 宮崎公立大学の明日を考える懇話会の開催について

資料 8 に基づき、平成 25 年度に本学が開学 20 周年を迎えることと、同 24 年度に第 1 期中期目標・中期計画期間が終了し、25 年度より 2

期目を迎えるにあたり、改めて地域に目指した大学として、地域の方々に愛されるためには如何にすればよいか、様々な分野の方々に意見を伺うための場として、9月22日(木)を第1回として、今年度中に3回程度、同会を実施することが報告された。

委員より、関係各方面から意見を聞くことが重要であるので、委員の数を増やしてはどうか、という意見が出された。

(5) その他

学長から、資料10により、(1)就職活動支援、(2)本学入学志願者数減への対応、(3)安全で安心して学び合える大学として、①ハラスメント再発防止、②経済的支援、(4)科学研究費補助金等、(5)研究支援年(平成24年度実施)、(6)その他として、①宮元章次教授「日本運動生理学会 第12回学会賞」受賞、②第29回電気設備学会開催、③東日本大震災関連事項、④九州・沖縄地区協議会実施、の説明があった。

3 その他

事務局より、2件の訴訟案件について、進捗状況の報告がなされた。

委員より、大学側は毅然とした態度をもって本取組を行うとともに、今後このような事態を起こさせない環境づくりを行ってほしいとの要望が出された。

公立大学法人宮崎公立大学経営審議会 平成 23 年度 第 4 回（臨時） 議事要録

日 時	平成 24 年 1 月 12 日（木） 13：00～13：45
場 所	宮崎公立大学 中会議室
出席者	出席者：井上議長（理事長）、小八重委員（事務局長）、 小池委員、三宅委員、藤元委員
配付資料	【資料 1】公立大学法人宮崎公立大学職員の処分について 【資料 2】職員の懲戒解雇に関する経緯 【資料 3】定款及び関係規程
議 事	<p>はじめに</p> <p>理事長より、今回のハラスメント事案に対するお詫びと、これから大学が一丸となって再発防止に早急に取り組むとの説明があった。</p> <p>その後、前学長から、研究教育にたずさわる一人として、申し訳ない気持ちでいっぱいであり、まず学長を辞任し、深くお詫びしたいとの報告があった。</p> <p>1 報告事項</p> <p>(1) 今回のハラスメント事案について</p> <p>はじめに、事務局から、今回のハラスメント事案に対するお詫びがあり、その後、資料 1 を基に、処分の内容と処分に至る経緯について説明がなされた。</p> <p>なお、委員より、危機感を持ち、ハラスメントに対する厳しい環境を作らないといけないことや、早く気づいて早く対処すること、予兆管理をいかに行うかが大事であることなどの意見があった。</p> <p>2 審議</p> <p>(1) 学長選考会議委員の選出について</p> <p>資料 3 を基に、今回の学長の辞任を受けて、学長を選考・任命する必要があるが、その学長選考会議委員にこの審議会の委員から 3 名選出することになるとの説明がなされた。</p> <p>協議の結果、小八重委員と小池委員、三宅委員の 3 名が学長選考会議委員として承認された。</p> <p>(2) その他</p> <p>特になし。</p>

公立大学法人宮崎公立大学 平成 23 年度第 5 回経営審議会 議事要録

日 時	平成 24 年 2 月 1 日（水）10:00～12:00
場 所	宮崎公立大学 中会議室
出席者	出席者 井上議長（理事長）、小八重委員（事務局長）、小池委員、藤元委員
配付資料	<p>【資料 1】平成 24 年度公立大学法人宮崎公立大学当初予算の概要</p> <p>【資料 2】平成 24 年度予算編成方針と予算要求対比表</p> <p>【資料 3】暫定評価について</p> <p>【資料 4】〔抜粋〕暫定評価（案）</p> <p>【参考資料】語句説明</p> <p>【資料 5】公示</p> <p>【資料 6】公立大学法人宮崎公立大学学長選考規程</p> <p>【資料 7】一般選抜入学試験出願状況</p> <p>【資料 8】平成 23 年度就職内定状況</p> <p>【資料 9】ハラスメントの対応について</p> <p>【資料 10】宮崎公立大学の今後の主な行事</p>
議 事	<p>1 あいさつ</p> <p>理事長より、今回のハラスメント事件、またそれに伴う学長辞任を受けて、大学を再生するために、真摯に大学運営を行っていく旨のあいさつがなされた。</p> <p>2 審議事項</p> <p>(1) 平成 24 年度予算（案）について</p> <p>資料 1、2 を基に、平成 24 年度予算（案）について、前回の経営審議会で承認された予算編成方針に基づき、具体的な平成 24 年度予算（案）についての説明がなされた。また、資金の運用について、新たな方法を調査・検討していることが説明された。</p> <p>(2) 第 1 期中期目標・中期計画に係る暫定評価について</p> <p>資料 3、4 及び参考資料を基に、第 1 期中期目標・中期計画に係る暫定評価の説明がなされた。</p> <p>委員から、建学の精神に立ち戻った大学運営を行ってほしいという意見が出された。</p>

	<p>(3) 学長選考に伴う候補者選考について 資料 5、6 を基に、学長選考に伴う候補者選考方法の説明がなされ、経営審議会における候補者（2 名まで）の検討を行った。</p> <p>(4) その他 特になし。</p> <p>3 報告事項</p> <p>(1) 入学試験の志願状況について 資料 7 を基に、入学試験の志願状況について、平成 24 年度は、平成 22～23 年度の実績を上回る動きを見せていることが報告された。</p> <p>(2) 就職内定状況について 資料 8 に基づき、就職内定状況について、現状と過年度の状況を比較した上で、今年度の就職内定率は 90%以上となるであろうことが報告された。</p> <p>(3) その他 資料 9 を基に、今回のハラスメント事案に関する今後の対応について、報告がなされた。委員から、ハード面の対策だけでなく、教職員の意識改革にも重点を置いて取り組んでほしいという要望が出された。 また、資料 10 を基に、今年度末から来年度初めまでの主な学内行事について、報告がなされた。</p> <p>4 その他 特になし。</p>
--	---

公立大学法人宮崎公立大学 平成 23 年度第 8 回経営審議会 議事要録

日 時	平成 24 年 3 月 28 日 (水) 13:30~14:45
場 所	宮崎公立大学 中会議室
出席者	出席者 井上議長 (理事長・学長)、小八重委員 (事務局長)、三宅委員、藤元委員
配付資料	<p>【資料 1】 公立大学法人宮崎公立大学 平成 24 年度計画 (案) 【管理・運営部門】</p> <p>【資料 2】 規程改正 (案) について</p> <p>【資料 3】 学長統括特別補佐役等設置規程 (案)</p> <p>【資料 4】 ハラスメント外部検証委員会報告書</p> <p>【資料 5】 平成 23 年度教員選考について</p> <p>【資料 6】 宮崎公立大学の明日を考える懇話会について 明日の公立大学のために (提言)</p> <p>【資料 7】 20 周年記念事業・行事検討委員会報告書</p> <p>【資料 8】 平成 24 年度入学試験結果</p> <p>【資料 9】 平成 23 年度就職内定状況</p>
議 事	<p>1 あいさつ</p> <p>理事長より、年度末に開催する本会議への出席のお礼と、本会は審議事項ならびに報告事項が多いため、円滑な議事進行への協力が依頼された。</p> <p>2 審議事項</p> <p>(1) 平成 24 年度計画 (案) について</p> <p>資料 1 を基に、平成 24 年度計画 (案) の説明がなされた。</p> <p>委員より、平成 24 年度社会人選抜の新入生が入学することが新聞で話題となったことを例として、宮崎公立大学の明るい話題をもっとアピールしてもらいたいとの要望が出された。また、「公開講座」や「開放授業」を、より多くの地域の方々に紹介してもらいたいとの要望が出された。</p> <p>審議の結果、本計画については原案通り承認され、役員会へ上程されることとなった。</p> <p>(2) 規程の改正 (案) について</p> <p>資料 2 を基に、学長が欠けた場合の代行規定がないため、宮崎公立大学学則を「学部長は、学長に事故があるとき、又は学長が欠けたときは、その職務を代行する。」の通り、改正案を作成したことが説明</p>

された。

危機管理の観点から本規程の改正を行うという大学からの説明を受け、原案通り改正案が承認され、役員会へ上程されることとなった。

3 報告事項

(1) ハラスメント外部検証委員会報告書について

資料4に基づき、3月27日付で、公立大学法人宮崎公立大学ハラスメント外部検証委員会から報告書が提出されたことが報告された。これを受けて、役員会での報告を行った後、本報告書を本学ホームページで公表すること、学生への説明を行うこと、本報告書を受けた大学としての改善措置について、4月上旬を目途に宮崎市長に報告すること、そして、3カ月後、6カ月後および1年後のそれぞれの時期に、検証を行っていくことが報告された。

委員より、教職員全体への危機管理意識の徹底と、未然に防ぐ体制作りを行うことが重要であるとの意見が出された。

(2) 学長統括特別補佐役等設置規程（案）について

理事長の学長兼務が平成24年度も1年間継続することが報告され、その補佐役として、資料3に基づき、学長統括特別補佐役等設置規程（案）に基づく、特別補佐役等の設置について、検討していることが報告された。

委員より、本措置は暫定的なものを想定しているのかどうかという質問がなされ、事務局より、基本的には暫定的措置であることが回答された。

(3) 教員選考会議について

資料5に基づき、教員選考会議（新規採用ならびに昇任）結果について、平成24年度は、2名の教員（「日本文学」、「国際法」担当）を新規採用するとともに、1名の教員を昇任させることが報告された。

(4) 「宮崎公立大学の明日を考える懇話会」からの提言について

資料6に基づき、今年度、学外委員7名により設置された「宮崎公立大学の明日を考える懇話会」から、提言書が提出されたことが報告された。

本提言書の内容としては、「リベラル・アーツ教育」のイメージ定着や男子学生の受け皿としての役割を果たすべきであること、そして足元の問題としてのハラスメント対策を深く反省し、防止対策に徹底的に取り組むこと等、であったことが報告された。

今後は、宮崎市当局と連携した上で、提言を受けた具体的な取組を行っていくことが報告された。

委員より、より一層、斬新な発想やユニークな発想で、大学改善を行ってほしいとの要望が出された。

(5) 「20周年記念事業・行事検討委員会」からの報告書について

資料7に基づき、学内に設置された「20周年記念事業・行事検討委員会」について、委員長である事務局長から理事長あてに、「20周年記念事業・行事検討委員会報告書」が提出されたことが報告された。

本報告書の内容としては、平成25年度に本学が開学20周年を迎えることを契機として、継続的な事業として学生の修学支援事業を検討していること、そして同25年度に「20周年」の冠を付した各行事を実施することが報告された。

委員より、「20周年」の冠を様々な行事に付することで、教職員のモチベーションアップに繋がるので、積極的に取り組んでほしいとの意見が出された。

(6) 入学試験の状況について

資料8に基づき、平成24年度入学試験結果について、平成24年度は、入学者数が212名で確定し、最終的な志願倍率が4.2倍（実質倍率は2.1倍）となり、昨年度実績（志願倍率：3.9倍、実質倍率：1.9倍）を上回ったことが報告された。

委員より、今回の実績で安心することなく、学生達を大事に育ててほしいとの意見が出された。

(7) 就職内定状況について

資料9に基づき、212名の卒業者がおり、うち158名が就職を希望し、その中で148名が就職内定を得ており、残り10名の就職に向けた支援を行っていることが、報告された。

4 その他

特になし。